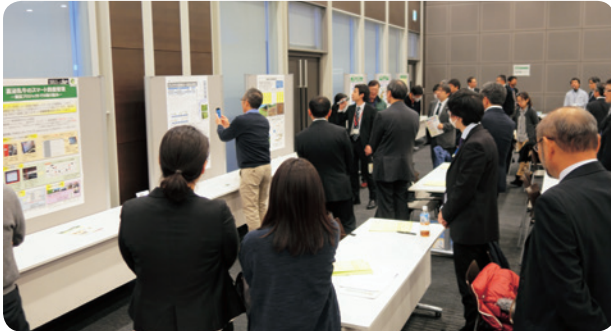


## ◆TOPICS

# 農研機構マッチング フォーラムin東北

令和元年12月4日、盛岡市の岩手県民情報交流センター（アイーナ）において「令和元年度農研機構マッチングフォーラムin東北」を開催しました。本フォーラムは研究成果の農業現場への普及を促進するために毎年開催しているものです。今年度はテーマを「自給飼料とスマート畜産が拓く畜産の未来」とし、148名の参加者のもとで新たな飼料生産技術による地域連携と展望につい



て議論が行われました。開会挨拶の後、①TMRセンター利用型良質自給飼料生産利用による高泌乳牛のスマート牛群管理体系の実証（農研機構北農研 青木氏、JA計根別 川目氏）、②子実用トウモロコシの生産技術（山形県農業総合研究センター 秋葉氏、山形県最上総合支庁 石山氏）、③トウモロコシ子実サイレージの調製と給与技術（農研機構東北農研 嶺野氏、(株)和農産 星川氏）、④岩手県の転作田におけるフェストロリウムの栽培実証と普及（岩手県農研センター 高村氏、江刺区生産者 菊池氏）について、それぞれ開発者と利用者がペアとなって講演しました。総合討論では、生産者から地域を残すには畜産農家を維持する必要があることなどが述べられました。また、講演の合間にポスターセッションを実施し関連成果6件と農研機構の重点普及成果3件（乾田直播栽培体系、デジタル土壌図、全国1kmメッシュ農業気象データ作成・配信システム）を紹介しました。

（地域戦略部事業化推進室）

